



NO. 013

FAS通信

平成16年5月号
株式会社福地建装

上磯町中野通321番地
TEL0138-73-5558

よごれた空気ときれいな空気

人は生きていだけで空気を汚します。呼吸をすると大量の二酸化炭素や水蒸気が出ますし、肺の中のウィルスも出てきます。それと同時に、私達の住んでいる家庭では、いろいろな物質が飛び散っています。家の中には、色々な石油化学製品がたくさんあります。それらには、可塑剤として三塩カリンなどの毒ガスも使われている場合もありますし、例えば壁紙やビニールクロスからは、リン系のガスが発生する場合があります。接着剤を使えば（ノンホルマリンといっても）微量のホルマリンが出る場合もあります。

愛煙家の皆さんは知っていたでしょうか、タバコを一本吸ったときに汚れた空気をきれいにするためには、新しい空気がどのくらい必要か・・・？

新しい空気は約30立方メートル必要となります。これは、6畳間の容積1.5部屋分に相当する量が必要になるのです。

現在、建築基準法において、化学物質による室内空気汚染を防止するため、クロルピリホスを添加した建材の使用禁止、ホルムアルデヒドの室内濃度を指針値以下に制御するなど、人体には無害であるとされる安全基準が設けられていますが、この安全基準は誰を基準に設けられているのでしょうか。ほとんどが大人の目線で作られていて、小さなお子様のことまで注意がいつているのかどうか非常に疑問です。本当であれば、大人の体重の十分の一以下にも満たない、子供の目線できれいな空気空間にしなければなりません。

「ファースの家」は、安全基準を満たしているほか、床下のスカットールによる空気清浄機能など、とことんきれいな空気にこだわった住宅です。小さな子供から、ご老人まで、家族全員の健康を考えた環境をつくる。それが、「ファースの家」なのです。

人はどのくらいの空気を摂取しているのだろう？

『健康飲料や健康食品』には、お金はかけるけど、『健康空気』にお金を意識して使っている人は非常に少ないのではないのでしょうか。あって当たり前空気ですから、あまり気に止めて、この大切さを考えた事がないのかもしれない。『人はどのくらい空気を摂取しているのでしょうか。』こんな疑問を感じたことはありませんか？

一般的に成人の平均的な飲食物摂取量が3~5kg/日に対し、空気は15~20kg/日と言われており、これを質量換算すると、なんと人間が一日に摂取する物質の87%が空気という計算になります。加えて、人体の全物質摂取量（重量比）のうち、室内空気（57%）・公共施設の空気（12%）・産業の空気（9%）・外気（5%）・飲料（8%）・食物（7%）というデータも発表されており、空気の中でも「室内空気」が人体に与える影響は非常に大きい事が分かります。しかも、食事内に潜む菌などの異物は、腸の粘膜から吸収された後に肝臓を通ることで、ある程度は解毒されますが、空気の中に存在している化学物質などは、鼻腔粘膜や肺の粘膜から直接、血液や体液に溶け込み簡単に体内へ侵入してしまいますので、住む人の健康を考えた時に、「空気の質」がいかに重要かを考えなければならないという事です。

参考文献：ABBベンチレーション社（スウェーデン）技術資料による
人が一生涯で摂取する物質の重量比

人体の全物質摂取量（重量比）の割合

